

静かな汚染、 ネオニコチノイド

浸透性農薬は(いのち)に何をたらすのか?



物にすでにたかさん使用されている殺虫剤はネオニコチノイド。ヒトに対する安全性が低いと知られてきたが、結果自然環境を破壊し汚染し、生態系に大きな影響を及ぼしている。昆虫や哺乳類に対する健康影響についても研究が進み、その安全性は疑問視されている。私たちの未来を守るために、私たちに問われている選択とは、

第28回 だらっと憲法カフェ

In 八事のカフェ紅茶の時間

名古屋にもオーガニック給食を求める市民運動がある。子供達を守りたいのだ。毎日食べるお米。日本の田んぼにネオニコチノイドを使わないでくださいと、心からお願いしている。遺伝子組み換え種子と除草剤の害もあるが、まずは、ネオニコチノイドを、日本の畑や田んぼから一掃してほしい。

2024年8月31日(第5土) 午前10時~12時半

静かな汚染 ネオニコチノイド (40分)
上映と交流、身近な殺虫剤など

10:00 あいさつ

10:15 映画上映

11:00 フェアトレードの TeaTime

お茶しながら交流

12:30 交流終了

【定員】 15名

【主催】 だらっと憲法カフェ

<https://durrat.sakura.ne.jp>

【会費】 500円

【申込】 要予約・メール又は電話

たかだ洋子 (nagareboshity@gmail.com)

電話は 070 1619 6435 (高田)



フェアトレード・ティータイム

【場所】「八事のカフェ ☆紅茶の時間☆」

地下鉄八事駅歩 8分 (初めて参加の人は②番出口 9時半集合で案内)

【映画紹介】 1990年代以降、主流の殺虫剤として、浸透性農薬ネオニコチノイドが、大量使用されている。水に溶けやすい性質で日本ではもはや検出されない河川を見つけるのが難しいほどに、水系汚染が進んだ。近年の研究で、ヒトを含む哺乳類の神経伝達や成長途上の神経の発達にも影響を及ぼすことが解明され始めた。生態系にも人体にも忍び寄る浸透性農薬。その脅威から未来を守るために、私たちに何が求められているのか。

【日本社会の現実】 ホームセンターに行くと、商品名様々なネオニコチノイドが大量に販売されている。EUでは、規制され、禁止された。しかし日本には一切の規制はない。大量に消費され、ごくごく微量で神経に作用する。浸透性で、可食部そのものに溶けている。

私たちの憲法カフェのこと「八事のカフェ ☆紅茶の時間☆」は、第5土曜日の「だらっと憲法カフェ」の場所です。2018年に、アメリカ第9条の会のチャールズ・オーバビー博士を偲ぶ会を開催してから、定期的に憲法を学び始めました。私たち自身の言葉で、何が大切なのか、何が真実なのか、情報を交換しながら学んでいく場所です。どの人も平和に生きる権利がある、その権利を、憲法で規定するのは、まだ世界に日本国憲法だけです。

